1 特別活動で目指す生徒の姿

必要な役割を決めたり、それらを全員で分担したりして、協力し実践する生徒

2 特別活動の研究テーマ

学級の形成者として果たすべき役割を自覚する力を高める学習の在り方

3 研究テーマの具現に向けて

議題「学年目標を実現しよう」(令和7年9月・1年)では、学級生活の充実や向上のために、役割を分担して協力し合い実践する学習の中で、総合的な学習の時間で知ったそれぞれの強みを生かせる役割分担を考え、学級内の組織の活動について話し合って合意形成を図る展開を位置付けた。総合的な学習の時間の単元「これからの社会に触れる私」では、自分の強みを発見、再確認する学習を行った。T生は授業の中で、「私の強みは気付いたことを発信し、みんなに注意できることだ。」と発言した。その後に行った議題「学年目標を実現しよう」では、T生は「最近は、数学の問題集を持ってくることを忘れている友が多いから、忘れないように、連絡黒板に翌日の注意点を書いておきます。」と自分のやるべきことを決めた。T生は「日直は連絡黒板を見て翌日の注意点を確認し、午後の短学活で連絡してほしい。」と学級の友に協力を仰ぎ、役割を分担してやるべきことに取り組んだ。このようなT生の姿を、特別活動の研究テーマに近付いた姿だと捉えた。

そこで、「学年目標を実現するために、学級生活を向上しよう」(1年)の議題では、学級生活の充実や向上のために、主体的に組織をつくり、役割を分担して協力し合い実践する学習の中で、総合的な学習の時間や道徳で知ったそれぞれの強みを生かせる役割分担を考え、学級内の組織の意義や活動について話し合って合意形成を図る展開を位置付ける。道徳では資料「みんなで成功させよう」【内容項目C(15)】において、よりよい集団の一員であるためには、どのような考えが大切なのかについて考えることで、「自他の強みをさらに生かして学級で生活していきたい。」などと思うだろう。教師は、短学活において、総合的な学習の時間と道徳とで実感した自分の強みを想起する場や、友と互いの強みを伝え合う場を設ける。生徒は、自分の強みを自覚し、役割を考えていくだろう。そして、同じ役割の友と協力し合って活動していくだろう。

以上のような学習を積み重ねることで、特別活動の研究テーマを具現し、目指す生徒の 姿に迫ることができると考えた。

4 議題名・学年

「学年目標を実現するために、学級生活を向上しよう」・1年

5 議題の目標 ※【 】内は、中学校学習指導要領との関連を指している

- (1) 学級における生活上の役割を担う活動やグループ活動等の意義を理解することができる。 【(1) イ】
- (2) 話合いを通して学年の目標の実現のために必要な組織を考えたり、自他のよさを 生かした役割を分担したりして、互いに高め合うことができる。 【(1) イ】
- (3) 学級の課題解決に必要な役割を自覚し、実践することにより、他者と協力して学級や学校の生活を向上させようとしている。 【(1) イ】

6 議題の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
知・技 学級における生活	思 話合いを通して学年の目標の実現	態 学級の課題解決に必要な役割		
上の役割を担う活動	のために必要な組織を考えたり、自	を自覚し、実践することにより、		
やグループ活動等の	他のよさを生かした役割を分担した	他者と協力して学級や学校の生		
意義を理解している。	りして、互いに高め合っている。	活を向上させようとしている。		

7 学級の形成者として果たすべき役割を自覚する力を高めるための手立て

・総合的な学習の時間や道徳で知ったそれぞれの強みを生かせる役割分担を考え、学級 内の組織の意義や活動について話し合って合意形成を図る展開を位置付ける。

8 議題展開 学級生活の充実や向上のために、主体的に組織をつくり、役割を分担し て協力し合い実践する学習

全3時間扱い 本時は第2時

議題終末の生徒の振り返り (例)

・同じような強みをもつ友とグループで話合いをしたことで、自分たちの強みを生かせる取組を考えることができた。それぞれのよさを生かした役割ができて、やるべきことが明確になり、友と一緒に協力して取り組めた。私たちなら自分たちの強みを生かして取り組めそうなので、次の課題に向けても積極的に取り組み、学年目標「共創」を実現させたい。

段階	◆学習		評価の	時間	
权階	教師の指導・支援	予想される生徒の反応	観点	时间	
導入①	◆学年目標を実現するために、自分たちが大切にしたい視点を基にして、解決すべき学級の課題		●知		
	を話し合って決める。				
	【議題】学年目標を実現するために、学級生活を向上しよう。				
	・これまでの学習を振り返る場を	ア 前回課題とした「二分前学習」は係を中心に解決できたと思			
	設け、学年目標の三つの視点「協	う。学年目標「共創」の「協力」という視点で見ても、みんな		1	
	力・挑戦・個性」を再確認する	で協力できた成果だ。			
	【小議題①】学年目標を実現するために、取り組むべき課題を決めよう。				
	・一人一人思い当たる学級の課題	イ 次は「給食週番」という課題が最優先だとみんなで決めた。			
	があることを確認し、話合いで課	課題解決に向けて再び協力できれば、学年目標「共創」の実現			
	題を決めるように促す。	に、さらに近付けるはずだ。			
導入②	・総合的な学習の時間や道徳で実	ウ 私の強みは優しいことであると、総合的な学習の時間に友か	ب	短	
	感した強みを、友と伝え合う場を	ら教えてもらった。道徳の時間でも、フォロワーとして優しく		短学活	
	設ける。	注意することができそうだと気付けた。強みを生かしたいな。		沽	
導	・自分の強みを生かして、どのよう	エ 私は優しいという強みを生かして、優しく声を掛けたい。言		短	
入	な取組ができ、その役割は何かを	い方に気を付ければ、相手だってそんなに嫌な思いはしないは		短学活	
3	記述する場を設ける。	ずだ。私の役割は「声掛け」だろうか。		活	
	◆課題に対して、学級内の組織の意義や活動について合意形成を図り、役割を実践する。				
	・同じ強みを持つ生徒でグループ	オ 私は給食の準備をするときに「身支度は大丈夫?」と給食			
展開①	を編成し、話し合う場を設ける。	当番の友に優しく声を掛けたい。		短	
	・学級の課題を解決するための取	カ 私たちは給食週番が丸になるようにみんなに声掛けをして		短 学 活	
	組を考え、記述する場を設ける。	いきたい。前日の給食週番の結果を伝えたり、早目に給食当番		活	
		の準備をすることを声掛けしたりして、給食週番への意識をみ			
		んなで高めたい。			

			-				
	本時の主眼:学級の課題を解決する	るために自分の役割を決める場面で、同じ強みをもった友と自	分た	ちのでき	そう		
	な取組を考え学級内の組織の意義や活動について話し合って合意形成を図る活動を通して、前向きに						
	学級に貢献できそうな役割を考え、協力して実践しようとする意欲を高めることができる。						
	※本時は、生徒が立ち	上げた議長会のメンバーが中心となって進行を行う。					
				○思			
		キ 前回声掛けがよいなと思ったけれど、学級全体に大	7				
	組を黒板に掲示する。	きな声で呼び掛けるとなると勇気がいるな。同じグル	分				
	・キ、クのような自分たちのグルー						
	プの取組に自信がなさそうな意	-					
		ク 私たちのグループでは、全体への呼び掛けは難しい					
	し合ってみて、取組をよりよくす	ので「友同士で給食当番の身支度の確認をし、給食当番					
	る役割を考えていくことを提案						
l lr	する。	がよいと考えた。もっとよい取組にしていきたい。					
		て、学級に貢献できる自分やグループの役割を決め出そう。					
			36				
	ープとDグループのように、グル	認をし、給食当番の準備を早めに始めることを伝え合	分				
	ープ同士で話し合う場を設け、互いのがループの取得なか計せて	おう。」という取組について、他のグループのアドバイ					
	いのグループの取組を検討する	スから、「ペアをつくって確認し合い、最後にその週の					
	ように促す。	リーダーが確認する。」取組になった。課題解決に向け			2		
	・机間指導を行い、それぞれの強み	てさらによい取組になった。私は、優しく声を掛けるよ					
	をどのように生かそうとしてい				(本時)		
	るかを問い返す。	いきたい。			時)		
展開	の役割を考えている生徒の意見	コ Bグループは学級全体に早めの給食当番の準備を呼 び掛ける「全体呼び掛け」という役割になっていた。自					
2	を全体で共有する。	分の強みである発信を生かしているな。					
		サ 前日の給食週番の結果を伝えることは、私が給食委					
	よりよい取組を考えて、学級に貢	員だから毎日の学活で連絡することができそうだ。同					
	献できる役割を決め出したグル	じ給食委員であるMさんとTさんと協力して、朝学活					
	ープを、議長会が指名し、その内						
	容を全体に発表する場を設ける。						
		シ Cグループの発表から、毎朝の給食当番の欠席者を					
	いて、アドバイスがある生徒に発	確認して補充する「フォロワー」という役割が必要だと					
	言するように促し、必要に応じて	考えた。それぞれの週で「フォロワー」を決めて、その					
	教師が助言する。	人が朝学活で補充のお願いするのはどうか。					
	グループで考えた取組や役割を	ス 私のグループではペアをつくって身だしなみを確認					
	実践していく際の思いについて	し合い、その週のリーダーが最終確認をする取組を考					
	伝え合う場を設ける。	えた。給食週番を達成できるようにしたい。					
	・本時の振り返りとして、「自分の	セ みんなで話し合うことで、どのように取り組んだら					
	役割」と「その役割に込める思い」	学級のためになるのか、よく分かった。みんなで決めた					
	を記述するように促す。	それぞれの役割を実践していきたい。私は「A週のリー					
		ダー」「結果発表」を友と協力して取り組み、クラスに	7				
		貢献し、クラスをよりよくしていきたい。	分				
	学級で決めた役割を、意思	をもって実践する(1週間ごと振り返えるようにする)。		○態			
Γ.	 ◆自分たちで決めた役割を、協力1			○知			
I IL		ソ 同じような強みをもつ友とグループで話合いをしたこと	ごで、	技			
	を振り返る場を設ける。	自分たちの強みを生かせる取組を考えることができた。自	分た				
終	・課題に対する学級全体の取組に	ちの役割が明確になったことで、課題解決に向けてどのよ	うな	○思	3		
末	ついて、成果と改善点を共有する	ことをしたらよいか見えてきた。友と一緒だと安心して取	り組		J		
	ように促す。	めた。私たちなら自分たちの強みを生かして取り組めそう	たの				
1 1	A TICKETO	いた。何にらなら自分にらい風がと上がして取り配めてす	0.				
	・新たな課題発見と課題解決に向	で、次の課題に向けても積極的に取り組み、学年目標「共					